



上尾市議会議員 上尾に活力・地域力

深山たかし

深山たかし後援会
上尾市大字上1774-7
776-0575
fukayama-sov@jcom.home.ne.jp
ホームページは検索サイトから「深山たかし」で閲覧できます

議会レポート

振り込め詐欺多発！

消費者問題相談体制と被害状況

最近、お年寄りを狙った「振込詐欺」に関するニュースが多いと感じ、今回は上尾市での被害状況と、対策を中心に質問しました。

上尾市では、コミュニティーセンター内に生活情報センターを設置し、消費生活に関する指導及び啓発、相談及び苦情処理、情報の提供や消費者の育成指導等を行っています。

また、市民の相談は生活相談員二名で対応し、勤務体制は、月曜日から金曜日まで、午前十時から午後四時迄の五時間を、常時2名体制を維持し相談に応じています。
生活情報センターで、受

けた振り込め詐欺に関する相談件数は平成十九年度が五件、平成二十年度はすでに八件に上り、その手口も複雑化し、特に息子と名乗る男からの振り込め詐欺が多くなっているそうです。

被害状況は、上尾警察署管内で、平成十九年が六十七件、平成二十年は十月現在で被害件数が七十三件、被害総額が一億三、万円となっているとのことでした。

今後は、消費者被害も高齢者が増加し、その手口も複雑化、悪質化してきていることから、広報あげおやホームページ等を活用した

啓蒙啓発活動を上尾警察や関係機関と連携を図り、被害の軽減に取り組んで参りたいとの答弁でした。

被害にあわないための防犯対策

以下は、警視庁のホームページに掲載されている対処方法です。
是非一読して下さい。

「ご家族の連絡先を知っていますか？この種の電話を受けたときは、それが事実かどうか確認しなければなりません。」

そこで、緊急時の連絡先として、本人の携帯電話番号や勤務先の電話番号、友人の連絡先などを把握しておき、いつでも確実に連絡が取れるようにしておきましょう。

電話がつながらない、連絡先がわからないなどで、連絡が取れない場合には、すぐに警察に相談してください。
事実かどうか、必ず確認し

ましよう。

電話を受けた方へ

動揺しない、慌てない。電話を切ったあと、すぐに事実を確認する気持ちでいてください。

電話を受けたとき、この話を思い出し、「詐欺かもしれない！」と疑ってみてください。

警察が示談の仲介をすることはありません。

弁護士や保険会社が事故交通事故直後に示談金の振込みを勧めることはありません。

すぐにお金を振り込まない。

お金を振り込む前に、自分の家族や親戚又は警察に相談してください。

脅迫めいた言動を受けることもありますが、毅然とした態度で接し、すぐに警察に通報してください。

不審に思うことや心配に思うことがあれば、すぐに警察に連絡してください。

ホームページの充実について

今年、市制施行五十周年で数々のイベントが計画されてきました。「広報あげお」には、各担当別に行事予定が掲載されていますが、ホームページのどこにもイベント情報の記載がありませんでした。

今では、ちょっとした調べ物をするのにホームページを利用することは常識になっていますので、イベントカレンダーを作ってもらいたいとの思いで関連した質問を行いました。

一、上尾市が考えるホームページの「総合的な情報デー



改良の余地のあるホームページ

タベースとして整備」とはまた、十七年度以降ホームページの内容をどの様に改善に務めたのか。

二、トップページの「市内の出来事」の改良。

三、上尾市においてイベントカレンダーの公開は可能か。

四、Web版「広報あげお」作成について

五、タブレット型ホームページの作成。

六、上尾市のWeb戦略について

今回、質問項目が多かったのですが、全て前向きな回答を頂きました。

特にWeb戦略については、「上尾の百科全書といえるような内容の充実を図っていきたい」と答弁がありました。期待したいですね。

「ぐるっとくん」無料化月

私が、昨年三月議会で提案し、今年九月に高齢者に対する「ぐるっとくん無料化月間」が実施されました。

そこで、実施報告と来年以降、継続の可能性について質問いたしました。

今回のぐるっとくん無料乗車事業は、市制施行五十周年記念敬老事業として、市内在住の六十五歳以上の方を対象に、九月一日から九月三十日までの一か月間に実施しました。

結果は、実施月一か月間の乗車総人数は四三、七七人で、そのうち六十五歳以上の高齢者は一三、四二七人でした。

費用負担は、利用者負担の運賃百円分の百三十四万二、七〇円とPR用のポスター印刷代を合わせて百三十八万四、七〇円でございます。しかし、九月分の利用者が前年度比六、七一四人増加していること、また、一、月の降の利用者も増加していることから、そのプラス効果も大きかったと受けとめております。

寄せられた意見は、「来年も実施して欲しい」「実施事業の広報をもっとやって欲しかった」等の内容でした。

財政問題

来年度以降の実施については、関係課と協議し、検討のうえ決定する予定です。上尾市では、保険証の提示で乗降できる様に工夫しましたので、費用面では少額で実施出来ました。

私は、来年度以降も是非実施出来るようにと要望しています。

財政状況に余裕はあるのかを見るための指標として、経常収支比率があります。経常収支比率は、毎年使用道が決まっている出費が、毎年コンスタントに入ってくる収入の何%を占めているのか「財政の柔軟さ」を示す指標です。

毎年決まって入ってくるお金が多く、毎年使用道が決まっている出費が少なければ、自由に使えるお金が多くなります。つまり、この数値が低いほど、臨時の出費に対応できる能力があることを意味します。

編集後記

あることを意味します。上尾市の場合、平成十九年度決算の経常収支比率は九三・五%となりました。大雑把に言くと、一、〇〇〇円を持っていても九、三〇〇円は使用道が決まっています。六、五〇〇円しか自由に使えるお金はなく、市民一人一人に支えるための政策経費が支出しにくい構造になっています。

まして、今年は、九月以降景気が急激に悪化してきました。来年度の予算組が心配です。小さな変化ですが、広報あげお十二月号の十九年度決算公表で「実質収支黒字」の表現がなくなりました。私は、過去五年間、広報の表現方法に疑問をもち修正を働きかけてまいりました。島村新市長になって訂正が実現されました。私は、透明感のある市政運営への大きな第一歩だと評価しています。

市政に対するご要望がございましたら、ご連絡ください。